

地質ニュース

昭和55年8月 第312号 1980

解 説	昭和55年度の地質調査所の研究②……………企 画 室・6
	CCOP-SOPAC 航海に参加して……………奥 田 義 久・16
海外事情	カトマンズ盆地の天然ガス(その1 地質)……………名 取 博 夫 滝 沢 文 教 本 島 公 司 永 田 松 三……………24
	メキシコの石油資源(2)……………竹 田 英 夫・36
	ハワイ・キラウエア火山(その2)……………三 村 弘 二 須 藤 茂 曾 屋 龍 典 松 久 幸 敬……………49
	スーダンを訪ねて……………小村 幸二郎・58
三 崎	M I S A K I……………小 玉 喜 三 郎 岡 重 文 三 梨 昂……………66
口 絵	カトマンズ盆地の天然ガス……………名取博夫ほか3名

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

チ ョ ー バ ル 峽 谷 (Chovar Gorge)

ネパール王国の主都 カトマンズ市街地から南々西約 5km に位置する石灰岩の峡谷。カトマンズ盆地がまだ湖だった頃 マンジュシュリー(文殊菩薩)が正面の岩を切り開いて 水を流したと伝えられる。湖の排水時期は C¹⁴ による絶対年代の研究によると 5,000年前以降とされる。

カトマンズ盆地の水を集めたバグマティ川(Bagmati)は この峡谷を経てマハバラト山脈(Mahabharat Lekh)中のバグマティ峡谷を南流し はるか南のヒンドスタン平原に達し ガンジス川に合流する。峡谷を形成するのは カトマンズ復向斜構造の最上部を占めるチャンドラギリ層(Chandragiri Formation)の結晶質石灰岩。この地層は三葉虫 頭足類 コノドントなどの化石を産し オルドビス紀からデボン紀に対比される。手前にはこの石灰岩を焼くネパール唯一のセメント工場 左手には男女の交歓をおおらかに刻んだ彫刻によって知られるヒンズー教の寺院がある。(本文参照)

(文・写真:名取博夫)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社